21　次の文章を読み、後の設問に答えよ。なお設問の関係で、送り仮名を省いたところがある。 〈埼玉大〉　二〇一六年度出題

容 楊 忠 愍 公 二 十 三 時、㆓ 二 ㆒ ㆓ 県 仏 僧 ㆒。夏 日 ㆓瘟 疫㆒、主 僧 。同 生 。兄 Ａ遣㆘ 人 促㆓ 忠 愍 及 二 姪㆒ 帰㆖。公 、「 予 、 死 ㆓ 旦 ㆒。」 遣㆓ 家 人 回㆒。Ｂ兄 遣㆓ 人 促㆒ 、「 相 、㆑ 也。」公 、「ア平 日 相 。㆑ 病

㆑ 、心 乎。 予 相 、 ㆓ 於 ㆒ 也。」㆑ 、 ㆓ 二 ㆒ 。公 ㆑ ㆓ 飲 ㆒、 ㆓ 医 ㆒、 ㆑ 。二 十 而 僧 。 ㆑ 矣。信 、公 、㆑ ㆑ 而 月 余、兄 。 夫 、皆 イ㆓ 一 ㆒。公 調㆓㆐ ㆒。数 而 。 年 伝 染 、 公 ㆓ 三 ㆒ 皆 、 公 不㆑ 。Ｃ人 皆 ㆓ ㆒㆑ 。

（『柳弧』による）

注　容城＝地名。　　楊忠愍公＝人名。　　姪＝。　　仏永＝僧の名。

行＝流行する。　　瘟疫＝悪質の流行病。

旦夕＝短い時間。　　家人＝召使い。　　調養＝看病する。

問１　傍線部Ａを書き下し文にせよ。

問２　傍線部Ｂの、兄の二度目の催促に対し、忠愍公が取った行動はどういうものだったか。わかりやすく説明せよ。

問３　波線部ア・イを現代語訳せよ。

◎問４　傍線部Ｃで、人々がこのように考えたのはなぜか。わかりやすく説明せよ。

【解答と採点基準】

問１　人をして忠愍及び二姪を促して帰らしむ

問２　Ａ二人の甥を先に兄のもとに帰らせただけで（自らは寺に残り）、Ｂ自分は病気に感染して死ぬのもかまわないという覚悟で Ｃ僧のために食事や薬の世話をし、夜は一緒に寝た。

Ａ＝４／Ｂ＝２／Ｃ＝４

問３　ア＝Ａ私は日頃から僧とは共に過ごしてきた。（なのに）Ｂ病気になってその僧を置いて去るのは、心が耐えられるだろうか、いや耐えられない。

Ａ＝４／Ｂ＝６〔反語の形になっていない場合は０。〕

イ＝一人も進んで（夫人に）近づこうとする者はいなかった。

「一人も～いなかった」がなければ全体０。「進んで」がなければ

減点４。

問４　Ａ悪質の流行病にかかった僧と兄、公の夫人を親身になって看病して三人とも治癒させたのに、Ｂ忠愍公自身は最後まで感染しないというＣ不思議なことが起こったから。

Ａ＝４〔「悪質」は「悪性」なども可。〕

Ｂ＝４〔「最後まで」にあたるものがなければ減点２。〕

Ｃ＝２

【書き下し文】

のの、をきてののにる。し、みる。のちげる。　問１をして忠愍び二姪をしてらしむ。公はく、「し去らば、ちの僧のにり。」と。くをらしむ。兄た人をして促さしめて曰はく、「如しまば、帰るかれ。」と。公曰はく、「相にす。りてを去るは、くんぞびん（や）。如し予相染まば、にに死するもたなり。」と。にいて、だ二姪をりて帰らしむ。公之がにしくをし、くをめ、は則ちを同にす。二十日にして僧ゆ。時に兄も亦た病に染む。るに、公やかに帰り、をかずしてふること、兄癒ゆ。公のも亦た病む、のへてづくし。公親しくら之をす。にして癒ゆ。のだし、して公親しく三人に事へて皆癒え、而も公に染まず。人皆へらくの之をくる有りと。

【現代語訳】

容城の楊忠愍公が二十三歳の時、二人の甥を引き連れて県の寺の仏永（という僧）の僧房に居た。夏に悪質の流行病がはやり、主人の僧が病気になって倒れた。同じ建物にいた学生（学僧）はすぐに逃げ去った。（忠愍公の）兄は人を遣わして忠愍公と二人の甥を促して帰らせようとした。（忠愍）公が言うには、「もし私が去れば、この僧の死は間近でしょう。」と。うまい具合に召使いを帰らせた。兄はまた人を遣わして促させて言うには、「もしおまえが感染したら、帰ってきてはいけない。」と。公が言うには、「問３ア私は日頃から僧とは共に過ごしてきた。（なのに）病気になってその僧を置いて去るのは、心が耐えられるだろうか、いや耐えられない。もし私も一緒に感染したら、同じようにここで死んでももちろんかまわない。」と。こうして、ただ二人の甥を連れて帰らせた。公はこの（主人の僧の）ために親身に飲食を用意し、広く医薬を求め、夜は一緒に寝た。二十日で僧は治った。その時兄もまた病気に感染した。手紙が届くと、公は速やかに帰り、衣服を脱がない（ほど急い）で（兄に）仕えること一カ月余り、兄は治った。公の夫人もまた病気になったが、皆問３イ一人も進んで（夫人に）近づこうとする者はいなかった。公は親身に自分でこの夫人を看病した。数日で治った。この年は伝染する者がとても多く、そして公は親身に三人に仕えて皆治り、それなのに公は最後まで感染しなかった。人は皆思うには神が彼を助けたのだと。